

11店 岐阜らしさ満載

「岐阜城楽市」内覧会



岐阜の銘菓「起き上り最中」などを販売する起き上り本舗＝24日午後、岐阜市大宮町（撮影・坂井萌香）



岐阜城や金華山を眺めながらコーヒーを楽しむ井ノ口珈琲焙煎所＝同

県食材の飲食や土産店

24日に内覧会が行われた、岐阜市大宮町の岐阜公園内にある飲食物販施設「岐阜城楽市」。岐阜市観光の新たな顔となる施設には、「岐阜らしさ」を掲げた飲食メニューなどを目玉とする11店舗がそろつ。一足早く訪れた地域住民や関係者らは、新たな観光拠点の誕生を歓迎した。（小田香緒里）

岐阜城楽市は、市民間資金やノウハウを活用する「公募設置管理制度」（P ark-PFI）を初めて採用し、事業者に選定された名古屋鉄道などでつくるグループが運営を担う。約1・3畝のエリアに、飲食店や土産店などが並び、休憩所や芝生広場もある。

岐阜城楽市の配置図



①	四季彩うどん 華きんとん
②	井ノ口珈琲焙煎所
③⑤	POP UP STORE （③さば寿司・⑤たこ焼き）
④	愛岐三（あきみ）食堂
⑥	起き上り本舗
⑦	城下町カフェ 魚久
⑧	ぎふ おりんぴ庵
⑨	肉工房 美乃家
⑩	Fruits Candy ar.
⑪	はちみつ専門店 秋田屋

岐阜城楽市の出店店舗

内覧会では、県産枝豆を使用したシェイクを提供するカフェ「井ノ口珈琲焙煎所」や、蜂蜜を使ったスイーツが味わえる老舗養蜂問屋「秋田屋本店」の専門店のほか、奥美濃古地鶏など東海3県の食材を使った食事を提供する「愛岐三食堂」などに列ができていた。

参加した地域住民らは、食べ歩きを楽しみながら公園内をゆっくりと散策していた。家族で訪れた地元の40代女性は「ふらっと子どもと来るのもいいし、土産店もあるので遠方からの友人も案内できそう」と笑顔を見せた。

「起き上り最中」など岐阜銘菓を販売する「起き上り本舗」の小島泉さんは「岐阜ゆかりの商品を集結させた。エリア一帯の環境も良く、今後はインバウンド（訪日客）への対応も強化していきたい」と意気込みを語った。